

企業見学



生徒総会



壮行式



PTA会報

第74号

発行者
山形県立米沢商業
高等学校 P T A
会長 小住 朋彰
校長 佐藤 敬一
印刷 柳青葉堂印刷
発行日
令和4年3月1日



賞状伝達式

あいさつ

校長 佐藤 敬一

本校PTA会員の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。今年度につきましても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、PTA総会は二年連続の紙上開催となりましたが、協議題についてはすべてご承認いただき、感謝申し上げます。参集型の会議を開催することができず、皆様には何かとご不便をおかけすることとなりましたが、ぜひご理解いただきたいと思います。

今年度、新たに会長に就任いただいた相田日出夫様には、様々な制限・制約がある中でのPTA活動となりましたが、リーダーシップを発揮していただきました。ありがとうございます。ぜひ来年度は、普通の日常が戻り、従来の活動ができるようにと願っています。

さて、本校は令和四年度から、現在の総合ビジネス科二学級と情報ビジネス科一学級の募集から、商業科

二学級の募集となります。学科改編及び学級減が行われます。いよいよ学校統合に向けての本格的なスタートです。現在、令和七年度新高校開校に向けての委員会が設置され、教育課程、部活動、制服、施設・設備、その他について、何度も会議が持たれています。百二十年ほどの長い歴史のある二つの学校がひとつに統合して、新たな学校が開校するわけですから、数多くの検討すべき項目があり、今後まだまだ時間をかけて慎重に進めていかなければならないようです。

新学校が誕生するというワクワク感がある一方で、米商という校名がなくなるといふ寂しさがあります。

令和四年度入学生が卒業する令和六年度末で米商が閉校します。つまり、令和四年度入学生が米商最後の卒業生となるのです。今、学校一丸となつて、地域とともにある商業高校としての役割を再確認し、元気な学校、魅力ある学校であり続けるために、一生懸命努力していきたいと考えています。そのためにも、これまでと変わらず、PTAの皆様からご協力をいただかなければなりません。

一年を振り返って

生徒会長 佐藤 伶央琉

今後とも、生徒たちを温かく見守り、そして、学校を支えていただければ幸いです。

一年間の生徒会活動を振り返り、新型コロナウイルスの影響を受けず活動の幅を広めることができた一年となりました。行事面ではクラスマッチや鶴城祭があげられます。クラスマッチでは学年・クラスの壁を越えての競技の実施。鶴城祭ではダンスの観覧の制限を緩和したことやクラス企画を各クラスが行うなど、先生方が提案してくださった感謝対策を行いながら各行事を行うことができました。生徒がコロナウイルスにかからないための対策をするには、どのようにすればいいかを生徒会担当の先生と話し合いながら、皆の思い出に残るようなイベントにしたいと思ひ努力しました。また、今年挑戦したこととして米沢市市民憲章活動の実施です。市民憲章の推進活動に沿った活動として



私たちができるものは「あいさつ運動」を生徒会役員全員で行うことでした。普段ならば風紀委員による昇降口前でのあいさつ運動でしたが、今回は学校だけでなく学校周辺の三カ所にて行いました。登校途中の生徒はもちろん、地域の人たちにも明るく元気に挨拶を行いました。地域の人たちからも挨拶を返していただき立派な地域貢献をすることができたと思ひ身感じています。

ほかにも執行部で行ったことで、ハロウィンの時期に執行部員がお菓子を配りに回ったことです。毎日変わらない生活をおくっている生徒に非日常的な生活をおくって一日だけプレゼントしたいと思ひ活動を行いました。お菓子をもらった全校生徒はもちろん、執行部員もみんなの笑顔が見れてとても楽しい一日に出来たのではないかと思います。

これらの活動ができたのは先生方や周りの生徒会役員、そして何より企画に協力してくれた全校生徒のおかげです。ありがとうございます。そしてこの生徒会長という貴重な経験をさせてくださり私自身、多くの面で成長することができました。本当にありがとうございます。保護者の皆様、どうぞ来年の生徒会活動にもご協力のほどよろしくお願いいたします。

書委員が選んだ
図 頑張っている
きみに贈る言葉
階段展示中!!

鶴城祭

がむしゃら

鶴城祭テーマ

我夢写楽

～距離は遠く

心は近く～



我夢写楽には、私たちが夢のような楽しい時間を写せますようにという願いを込めて作りました。また、文字の通り、全校生が鶴城祭をがむしゃらに取り組めるようにという思いも込められています。コロナ禍という状況なので、距離は遠く、心は近くというサブテーマも付けました。

総合順位

第1位 (鶴城賞) 3年2組
第2位 3年1組
第3位 3年3組

【日程】

10月20日(水) ダンス部門リハーサル
21日(木) 手形アート制作
(生徒会企画)
22日(金) 開祭式
クラス企画部門
生徒会企画部門
23日(土) ダンス部門
閉祭式

鶴城祭を終えて

企画委員長 板坂結奈

今年の鶴城祭は、昨年度に続いて新型コロナウイルスの影響がありました。ダンス企画に加えて、昨年度残念ながら行なうことが出来なかったクラス企画、生徒会企画も行えることになり、私だけでなくたくさんの人が嬉しく思ったのではないのでしょうか。私はその中でも特にクラス企画を行えたことが一番大きく感じました。一二年生はもちろん、私たち三年生もクラス企画の経験がなく、全学年が真っ白な状態からのスタートとなりました。ですが、準備期間に入り放課後廊下を歩いていると、どのクラスも私の想像を遥かに超えてくるものを作っていて正直驚きを隠せませんでした。

鶴城祭当日では、みんながとても生き生きとして米商がいつもより明るく見えました。各クラスの良さがでた息の合ったダンス、全てが手作りで青春と努力が詰まったクラス企画、自分の魅力がバッチリ伝わるフリースタージ、全校生で一つの虹を作った手形アート、シンデレラの世界に入り込んだかのような装飾、振り返ってみると様々な思いが蘇ってきます。私たち高校生にとって一大イベントである文化祭は一生の思い出に残るものです。生徒の皆さん、先生方、最高の思い出を作ってください、本当に有難うございました。

